



…『キラキラ』の由来…
NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:113 平成23年9月15日

…つばやきサロン…



なぜ、今、「協働」なのか



高度成長期の頃「若く、貧しい」国だった日本は、先人たちの努力の結果、「豊かな」国になった。同時に、約半世紀が経って「老いた」国になろうともしている。

人口に占める65歳以上の高齢者の割合は、5年前には5人に1人だったものが、今から何年も経たないうちに4人に1人なり、15年後には3割を超えて3人に1人になるという。更にこの頃には団塊の世代が75歳になるので・・・という話を聞くとこれはもう大変だと思う。

だけど、こうして数字を見せられたそのときは大変だとは思うけど、数日もしないうちにそんなことは忘れてしまって、目の前のことだけにどうしても目が行ってしまう。

今でも十分高齢化社会なのだが、毎日変化を見ているので慣れて実感が湧かないのか、それとも未だに経済成長期の感覚が意識に刷り込まれていて、問題が起きても経済力でどうにか解決していこうという気分が払拭できないのか、自分の事ながら危機感がないなということを感じている。

8月に「人と組織と地球のための国際研究所」の川北先生をお招きして開催した、『市民活動団体と行政との「協働」セミナー』は、この高齢化の進行を目の前に突きつけて、だから協働が必要なんだということを強く訴えた内容であった。

人口も減少する、経済も新興の国々に追い上げられる中での10～20年後の社会は、もし時間の流れの中から今と10～20年後の社会だけを切り取って並べてみる事ができれば、劇的と言っていいほどに変わっていて、その社会が抱える問題もまた、これまで経験したことのないものなのかもしれない。

20世紀型のシステムでは、21世紀の問題には対応できないと言われていたが、これまで経験したことのない問題を解決する21世紀型のシステムの基盤になるものこそ、協働による社会（地域）づくりなのだろう。

今、始めなければ15年後には間に合わない。

北九州市市民文化スポーツ局
地域振興課 三森康弘

第116回 サポートセンターの日 2011年8月26日

NPO活動発表会 「生と死について～それぞれの立場から考える心のケア～」

☆発表内容☆

「20年間のあゆみ～がんやホスピスについての知識の交流～」

「あなたをひとりぼっちにしない!」が会の精神です。この会は、平成2年に故浜口至牧師が中心になり、「行橋がんを語る会」としてスタートしました。その2年後、事務局を北九州市に移したのを機に、現在の名称に変え、曹洞宗の住職ら6人の世話人全員で運営をしています。今年で21年目になりますが、現在の会員数は行橋、北九州近郊を中心に約80名です。



北九州がんを語る会
世話人 田中 七四郎さん

主な活動は、毎月発行の会報「希望（のぞみ）」を通じて、がんについての新聞情報やがん専門誌などの記事を紹介したり、2～3ヶ月に1回、専門家を招いた例会や、がん患者や家族の交流会、病院や施設の見学会などを開き、がんに関する情報共有や相互理解の場を設けています。

平成5年には故浜口代表が北九州市議会議長宛に「緩和ケア病棟設置に関する請願書」を提出し、それがきっかけとなって北九州市立医療センターの緩和ケア病棟が実現した経緯がありました。今年3月には、会設立20周年記念フォーラムも開催し、多くの方が参加して下さいました。

私自身も18年前に胃がんになり、胃の8割を切除しました。生かされている身として、自らの経験を活かし、患者さんたちの不安感を少しでも取り除きたいと思いながら活動を続けています。

今後は、在宅ホスピスの環境整備・充実化などの提言をしていくと共に、参加者同士が普段着でがんを語り合い、同病相励ましあう場を続けていきたいと思っています。

☆発表内容☆

「経験者・心理カウンセラー、両者の目線で考える～心のケアで大切なこと～」

大切な人を亡くすという経験。これは、人間誰しも避けては通れない事です。

本会は、わが子や夫や妻、親や兄弟、ペットなど愛する存在を亡くし、心に深い傷を負った方々に対し、経験者や心理カウンセラーが心に寄り添い、心のケア（グリーフケア）を行うことを目的としています。同じ経験を持つ者同士が集い、気持ちを分かち合う交流会は必要ですが、運営側の精神的負担や、不測の事態が起きたときの対応が不十分であるという弱点があります。また批判・否定や余計なアドバイスにより他の参加者を傷つけてしまう場合も少なくありません。

一方で心理カウンセラーのケアの弱点は、カウンセリングに対する社会的理解が低く、受け入れられないこと、またカウンセラー自身が頑張りすぎてしまい、自分の心を置き去りにしてしまうということです。両者にとって、自分の気持ちを吐き出す場、何かあれば相談できる仲間がいる場、そして経験者が何を感じ、どう思っているのかを肌で感じる場が必要なのです。

「頑張らないこと。抱え込まないこと」をモットーに、心についての正しい知識と「安心感・心地よさ・連帯感」を共有できるような、会運営を大事にしています。

毎月の「グリーフケア勉強会」は、テーマを「死別体験」のみに限定せず、心全般についての心理学的理論や心理療法に基づいた実践的演習を、楽しく身に付けていただけるよう工夫し、情報提供等を行っています。これからも、行きたい時に行ける場所、元気になれる場所、そして心について理解ある仲間がいる場所であり続けたいと思っています。



特定非営利活動法人たんぽぽの家
理事長 早川 みどりさん

イベント・ボランティア情報

◆◆NPO法人会計基準セミナー

NPO法人会計基準と会計実務について講義を行います。簿記の基本的な知識のある方が対象です。

○日時：10月24日～11月28日
毎週月曜日（全6回）
18：30～20：30

○講師：白石京子税理士
（九州北部税理士会）

○定員：15人（先着順）

○受講料：無料（別途テキスト代1680円）

○申込先：北九州市市民活動サポートセンター
TEL 093-562-5309
FAX 093-562-5310
e-mail support3@axel.ocn.ne.jp



◆◆「ボランティアコーディネーター研修 ～いま求められるボランティアコーディネーションとは

ボランティアを受け入れることが、施設利用者、ボランティア、施設職員それぞれにとってプラスになるようなコーディネーションとは何かを学びます。

○日時：10月21日（金）9：30～16：30
10月22日（土）10：00～17：00
全2回

○会場：ウェルとばた 12階HI研修室

○受講料：700円

（テキスト代として別途525円（税込）が必要です）

○定員：30名（応募者多数の場合は抽選）

○対象者：社会福祉施設等でボランティアコーディネーションを担当する職員の方（予定者を含む）

○申込方法：受講申込書に記入の上、郵送で

○締切日：9月30日（金）

○申込・問合せ先：〒804-0067

戸畑区汐井町1-6ウェルとばた3階

北九州市社会福祉協議会

ボランティア・市民活動センター 研修課

担当：楠・江藤

TEL 093-381-6321



助成金・賞情報

支援情報タイトル	支援分野	主催	締切
読売福祉文化賞2011年	福祉	読売光と愛の事業団・読売福祉文化賞事務局	9/30
2011年度アユスNGO人材支援	国際協力	定非営利活動法人 アユス仏教国際協力ネットワーク 「NGO 人材支援事業」	9/30
第22回コメリ緑資金	環境	株式会社コメリ「コメリ緑資金の会」	10/31
年賀寄附金による社会貢献事業助成	保健・福祉	郵便事業株式会社 経営企画部 環境・社会貢献室 年賀寄附金事務局	11/30
東日本大震災復興支援“がんばろう！ NPO”PC1000 寄贈プログラム	情報化社会	認定NPO法人イーパーツ	2012年 3/31

※詳細は当センターのホームページに掲載しております。

また、当センターの助成金コーナー（ラック）には紙ベースでの情報を設置しております。

知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. 「新しい公共」という言葉を耳にしますが、どのような考え方ですか？

A. 「新しい公共」とは、これまで行政が担ってきた、子育てや教育、防犯や防災、福祉などの公共サービスに、サービスを受ける側だった市民、NPO、企業なども、提供者として積極的に参加することです。

個人の価値観の多様化や高齢化の進展により、細やかなサービスが求められるようになってきていますが、従来のやり方では、十分に対応出来なくなりつつあります。

これからは、市民、NPO、企業などと行政の協働によって、「新しい公共」を実現しなければなりません。

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年7月31日現在

	申請受理数 (含む申請中)	認証数 (現在数)
都道府県	41,353	39,778
【福岡県】	1,507	1,460
内閣府	3,571	3,338
全国計	44,924	43,116

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年8月31日現在

	申請受理数 (含む申請中)	認証数 (現在数)
【北九州】	270	266

9月からの新しい相談員の紹介です。

第2水曜日に入ります。よろしくお願いします！

相談分野：子どもの活動に関わるボランティア
NPO 活動支援 等



大久保 大助
KID's work 代表

趣味：直太朗(うちの長男です)と遊ぶこと

一言メッセージ：

学生時代からいままで、子どもの野外活動に関することをやってきました。ボランティアとして関わる気持ち、運営する者の苦悩は身を持って分かっているつもりです。市民活動をおもしろくして、いい世の中になればと思っています！！

定例会特集 北九州ESD協議会（45回）

北九州ESD協議会ではプロジェクトごと（地域、調査・研究、広報、ユース）に定例会を行っています。それぞれの会議においても、異分野の人たちが集まり、ESDという共通理念のもと話し合いを行うので、いろんな意見が飛び交います。まとまるまでに時間を要することもあります。その話し合いのプロセスが大切であったりもします。

北九州ESD協議会の定例会の参加率は決して高いものではありませんが、参加希望者ができる限り出席できるように時間や場所を調整していくとともに、定例会に積極的に参加したいと思われるくらいに、いろんな人が集まって意見交換ができ、みなさんの勉強になるような場作りに励みたいと思います。

ESDはひとりひとりが主役の教育活動。力をあわせて、それぞれの得意分野を持ち寄って未来をつくる人づくりを目指し、持続可能な北九州のまちづくりを実現させましょう。

みなさんのご参加をお待ちしております。詳しくは[北九州ESD協議会](#)で検索！



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00

日曜日・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーションで仕切った無料の会議室。

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◆利用時間 月曜日～土曜日《10:00～21:00》

日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】 9月29日(木)・10月27日(木)

編集後記

実りの秋ですね。美味しい新米が早く食べたいです。

でも、農家は去年の古米が残っているとそれを食べてしまわないといけません。古米があればあるほど、新米は食べられず、年を越すこともしばしば…。なんだか、おかしな矛盾を感じながら、この季節を迎えています。

しかしながら、黄金色に輝く田んぼは良いものです。あぜ道に彼岸花が咲いていれば、なおさらです。ただ、早稲米が主流になった今、収穫の時期が早くなり、その色の競演が見られなくなっているのが残念です。byパクン